

小松市立学校PTA 連合会

PTA だより  
第85号

子どもたちが夢を描き行動できる環境構築 ～ 家庭・学校・地域の連携と郷土への更なる関心 ～

<市P連事務局>

〒923-0927 小松市西町25番地  
小松市立芦城小学校内

TEL (0761) 23-2478

FAX (0761) 23-0902

Eメール pta@kec.hakusan.ed.jp

ホームページ www.hakusan.ed.jp/  
kcpta/

Facebook www.facebook.com/  
kcpta

平成28年3月1日発行  
市P連広報委員会



小松市小学校校長会 会長  
小松市立苗代小学校 校長

出口 春一

## ◎ 郷土を愛し、未来を創る小松の子どもたちを！

小松市立学校PTA連合会（市P連）の皆さん、今年度も本市の学校教育並びに子どもたちに対しまして、多大なるご支援・ご協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度をふり返ると、北陸新幹線「かがやき」が開業し、県内の史跡名勝や観光地、伝統文化や食文化等が大々的に発信され、石川県が一躍全国から脚光を浴びた年でした。また、市P連の皆様方には、例年の活動に加えて昨年10月に『第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川県小松大会』が開催された年でもありました。『子どもたちの未来を地域とともに』をテーマに掲げ、岡田直樹会長並びに齋藤浩大会実行委員長をリーダーに早くから実行委員会を立ち上げ、アピール用のプレゼンを制作し準備されていました。市P連の皆様方は、実行委員会を何度も重ね式典の企画や会場作り、分科会の準備や運営等に創意工夫されていました。大会初日の分科会では、東海北陸から参加した方々と『家庭教育』『学校支援』

『地域連携』について活発な協議がなされ、子育てや支援の在り方を共有し研修を深めることができたことと思います。2日目は、式典と山崎直子氏による記念講演会がこまつドームで盛大に開催されました。市P連の皆様方は、2日間参加者の移送等にも「おもてなしの心」で対応され、無事大会が成功裡に終わられました。市P連の皆様方の多大なるご尽力には、心から感謝と敬意を表するとともに、微力ながらその一員であったことを私自身嬉しく思いました。このように平成27年度は、ここ小松を広くアピールできたと共に、ふるさとを愛し誇りに思い、これからの未来をたくましく生き抜く児童の育成について考える良い機会になったことと思います。本大会で研修されたことを今後の活動に活かし、『郷土を愛し、未来を創る小松の子どもたちの育成』に、学校と市P連並びに地域の方々とスクラムを組んで頑張っていきたいと思います。



小松市立学校PTA連合会  
会長 岡田 直樹

## ◎ 今年度を振り返り

平成27年度も残りわずかとなりました。平素より小松市立学校PTA連合会に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度は小松市のPTAにとって大変大きな事業である『第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川県小松大会』がありました。準備段階より3年の計画のもと、それぞれの役割や臨機応変な対応をしていただきました。中でも小松市以外の県内の保護者の方、県外から来られる保護者の方への「おもてなし」の心を持って、一致団結してお出迎えをしていただきました。今年出会った他校のPTAの仲間と思いを一つにして、かけがえのない瞬間を共にできたことは皆様にとっても今後の活動に素晴らしいものになったと思います。私自身、皆様に対しまして感謝の一言に尽きる思いです。本当にありがとうございました。さて、小松市立学校PTA連合会の平成27年度の事業を振り返りますと主に継続した事業に取り組んでいます。単年度で終わる事業ではなく進化改善をしながら続けることで認知され、折にふれ行動に表れてくると思います。大切なことは子どもたちにどのような姿を我々大人が示すことができるのかだと思います。常に「すべては子どもたちのために」を念頭において事業構築をまいります。小松市立学校PTA連合会は各PTAの情報の集まる場所として、そして保護者と学校、行政、地域の方と共に活動をしてまいりますので、今後ご協力をいただきますことをお願い申し上げます。



# 早寝早起き朝ごはん運動

## 大人が変われば子どもも変わる

日時／平成27年11月15日(日) 13時～16時  
場所／サイエンスヒルズこまつわくわくホールにて



特別委員会 委員長 園井 肇

「早寝早起き朝ごはん運動」は今年度で9年目となりました。少しずつ皆様に浸透し、大切さをご理解いただけていると思います。時間を作る難しさはあると思いますが、ぜひ、ご家庭で取り組み、継続していただければと願っております。

今年度も夏休みの時に、小学生を対象に「こまつっ子げんきアップカード」、中学生には「生活習慣チェックシート」を配布し取り組みました。同時に「わが家の標語」「わが家の朝ごはん」「ポスター・絵画」の作品を募集し、合計2,600点余りの応募がありました。また、地域の方々（市内8地区から）が「ラジオ体操プラス1運動」を行っていただき、本当にありがとうございました。

小松市民大会は、昨年度に引き続き体験型イベントで開催しました。オープニングでは芦城中学校吹奏楽部による楽しい演奏、その後、応募作品の優秀作品受賞者の表彰、市P連の母親委員会による子育てに関する発表、そして、ネットに関するミニセミナーを石川県教育委員会生涯学習課専門員の浜中美咲氏にご講演いただき、最後にカブッキーとジャンケン大会を行いました。また、展示ゾーンではオレンジリボンなどのPRコーナーや入賞作品の展示があり、イベントゾーンではクイズラリーや昔遊び、カブッキーの貯金箱づくりや北陸体力科学研究所ダイナミックによる健康チェックなどがあり、大人も子どもも楽しめる空間をつくりました。これを機会に生活習慣の再確認と、子どもたちの健やかな成長を見守っていただければ幸いです。

この運動にご支援、ご協力いただいた多くの皆様方に心から感謝申し上げます。

## 〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

### ◆『わが家の標語』部門

松陽中学校3年 角地 彩乃さん・中海小学校6年 高島 一真さん  
第一小学校5年 嶋多 真爾さん・芦城小学校3年 松島 美詩さん  
稚松小学校2年 竹下 友輝さん

### ◆『わが家の朝ごはん』部門

今江小学校5年 黒川 真優さん・第一小学校4年 鴻野 碧さん  
第一小学校3年 漆原 大志さん・犬丸小学校2年 杉山 煌大さん  
芦城小学校1年 多田 一輝さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』ポスター・絵画部門

芦城中学校2年 園井 翔さん・稚松小学校5年 中田 花さん  
第一小学校4年 鍋嶋 もえさん・芦城小学校2年 山崎 望来さん  
稚松小学校2年 土肥かのこさん・芦城小学校1年 小川 円さん

### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』地域運動部門

糸町婦人会様・金野町公民館様

### 2016 早寝早起き朝ごはんCALENDAR

1月～6月

7月～12月



入賞された内容が2016年のカレンダーになりました！





- オープニング  
芦城中学校吹奏楽部による演奏
- 開会挨拶
- 来賓挨拶
- 表彰式
- 研究発表「小松市立学校PTA連合会母親委員会 研究発表」  
「ネットに関するミニセミナー」
- カブッキーとジャンケン大会

オープニング



オープニングは芦城中学校吹奏楽部から

表彰式



受賞された皆さんおめでとうございます！

研究発表



母親委員会による発表

工作コーナー



大人気！カブッキーの貯金箱づくり

昔のあそびコーナー



竹とんぼが高く飛んでいました

ジャンケン大会



カブッキーとじゃんけん大会！



# 第3回 母親委員会

# グループ別研究発表会

日時／平成27年10月22日(木) 午後7時より 場所／第一地区コミュニティセンター 多目的ホール

第2回母親委員会にて、多賀クリニック院長 多賀千之先生の講演『子どもたちの心の中にある“甘える壺”を満たすために』を拝聴し、その中から各グループでテーマを見つけ出し、討論するかたちで研修しました。各グループで集まり、大変意義のある時間を過ごすことができました。各小中学校に活動内容の冊子を配布してあります。ぜひ、ご覧ください。

## 「愛情いっぱいの子育てとは？」

- 南出 麻希 (芦城小) 嶋田真紀子 (今江小)
- 橋本 智子 (犬丸小) 山崎 有砂 (国府小)
- 池田ますみ (符津小) 永井 聖子 (波佐谷小)
- 南川真佐枝 (栗津小) 田中 泉 (木場小)

## 「子どもに自分の価値に気づいてもらうために」

～ ありがとうの気持ちを言葉で伝えて～

- 久司亜紀子 (能美小) 鷲尾 恵 (安宅小)
- 堀田花菜子 (串小) 南 八千代 (荒屋小)
- 泉川 朱美 (東陵小) 野村 留美 (苗代小)
- 宮崎くるみ (蓮代寺小) 五條 由美 (西尾小)



## 「笑顔あふれる未来のために」

～ 思春期の子どもと心と心で向き合う時間～

- 軽海 由里 (矢田野小) 竹田 万里 (中海小)
- 酒田 有利 (稚松小) 岡田 里美 (第一小)
- 北村いずみ (月津小) 長谷川淳子 (向本折小)
- 宮下 貴子 (日末小) 升崎 幸江 (金野小)
- 滝口 優美 (那谷小)

## 「子どもの声を聴ける大人になりませんか？」

～ 傾聴～

- 道辺 良美 (国府中) 丹保 理恵 (御幸中)
- 小松 雅代 (丸内中) 長岡 綾子 (松陽中)
- 湯浅 美穂 (芦城中) 上野 桂子 (板津中)
- 濱本明希子 (安宅中) 野村 典子 (中海中)
- 山口 裕子 (南部中) 北村 香里 (松東中)

## 早寝早起き朝ごはん運動

### <小松市民大会>

平成27年11月15日(日) 於:サイエンスヒルズこまつ

早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会に於いてもグループ研究発表を行い、市民の皆さんにも聴いて頂きました。

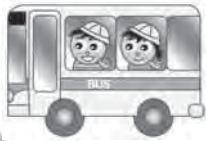


母 親 委 員 会



# 母 親 研 修 会

日時／平成27年12月3日(木)



日  
程

芦城センター(震災食実習体験) → サイエンスヒルズ・レストランテ・ジン(昼食) → 加賀市大聖寺 竹の浦館(クリスマスリース作り体験)

PTA 会長をはじめ、委員23名が参加しました。  
体験を通して交流が深められた研修会となりました。



震災食実習体験



昼食 レストランテ・ジン

とっても  
おいしかったです

## 〇〇〇 参加者の感想 〇〇〇

- 震災食の実習は思ったより簡単で、気軽に取り組めそうです。
- クリスマスリース作りは、きれいに仕上がって、とても楽しく出来ました。



母親委員会 委員長 嶋多 直子 (第一小)

我が家の子どもたちは今、野鳥の観察と撮影に夢中です。興味のない人にとってみればただの「鳥」も、彼らには何にも代えがたい「宝物」のようで、目を輝かせ、声を弾ませながら鳥を探しに出かけます。野鳥や自然は、子どもたちにとって生きた教科書です。そこから教わることの何と多いことでしょう。彼らも、それを実に食欲に吸収していきます。何故なのか。答えは至ってシンプルで、「楽しいから」。バーチャルでは得られない、本物の楽しさがそこにあるからです。でも、楽しいだけでもありません。自然が相手のことなので、忍耐と努力も求められます。お目当ての野鳥に必ず会えるとは限りません。がっかりして帰路につくことも数知れず、です。けれど彼らはその忍耐と努力を惜しみません。それを乗り越えた時の喜びと達成感も、知っているからだと思います。子育てもきっと同じ。忍耐や努力を必要とする場面もあるけれど、子どもたちと過ごせる毎日に感謝しながら、「楽しく」歩いていければいいなと思っています。

最後になりましたが、一年間共に活動し、支え励ましてくださった母親委員の皆様から心から感謝申し上げます。

一年間  
ありがとうございました

## 母親委員会 広報担当

嶋田真紀子・久司亜紀子・軽海 由里・竹田 万里



母 親 研 修 会



# 第18回 小松市中学校新世代会議

## 事業概要

- **日時・場所** 平成27年11月8日(日) 13:00~16:00 芦城センター多目的ホール
- **事業目的** 「18歳選挙権、平成28年参院選から適用の改正公選法成立」を受けて次の統一地方選では一部選挙民となる中学2年生にまちづくりの夢を語り合っていただき、選挙民の一人としての心構えを準備する。
- **事業内容** 4グループに分かれ、選挙の仕組み、まちづくりに対しての夢や希望、議員との懇談、将来の夢など意見を交換し、自分たちの生活や地域への思いを話し合っていました。
- **対象者** 小松市立中学生40名(各中学校2年生 男女各2名)



議員さんから直接お話を聞きました。



真剣に議論しました。



グループ発表



生徒の皆さん、参加ありがとうございました。

## 自分たちの一票で

新世代委員会 委員長 柿田陽一郎

本年度の新世代会議は近年の事業と異なり、対象中学生から様々な意見を聞くというスタイルではなく、次の統一地方選挙では自分たちが選挙民となって議員を選ぶための投票をする立場になるという現在の中学2年生に新たな刺激を与え、自分たちの街に対しての思いを話し合っていたいただきたいと考えて事業を行いました。

そこで生徒たちに刺激を与える手段として、小松市議会に市議会議員の派遣要請を行い、街づくりのために自らが選挙に出て当選し、多くの責務を担っていただいている議員の皆様方から直接お話を聞くことができる事業内容としました。これにより議員のお話を自分たちの身近な話題として捉え、自分たちの一票が街を作っていくという感覚を掴んでもらうことができたと考えています。

とはいえ、選挙制度の詳しい内容は中学3年生の「公民」で習うことになるため、参加生徒の皆さんに議員との懇談の前に選挙制度を理解してもらう必要がありました。そのために学校の生徒会との比較や選挙年齢が国によって違う事、若い年齢層の低い投票率を上げる工夫などをクイズ形式で参加者全員に考えてもらいながら進めていきました。

今回、選挙をテーマに選んだ事や市議会議員の皆様へ街づくりに対しての意気込みを語っていただいた事が参加生徒たちにどのように作用し、地域に対しての思いにどのような変化をもたらすのかは、数年後になって、はじめてわかることだと思います。大切な事は大人が時間を掛けてじっくり児童生徒の心を耕すことによって、多感な子どもたちの成長を育てていく事だと考えます。今回の事業に参加していただいた皆さんが、他の仲間たちをどんどん巻き込んで地域の発展に力を発揮していただく事を祈念しています。





第71回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会

平成27年 10月9日・10日



# 石川県・小松大会



第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川県・小松大会は、2,600名を超える多数の会員の皆様にご参加いただき、盛大に開催することが出来ましたことに心より感謝申し上げます。また、大会へのご協力をいただきました関係各位の方々には厚く御礼申し上げます。

今大会は、子どもたちの未来を地域とともに～「智・仁・勇」の心から始まる未来への物語～をスローガンに掲げ、「未来を生き抜く知恵」「お互いを思いやる心」「何事にも挑戦する勇気」といった3つの「心」をキーワードに、3年前から準備委員会を立ち上げ進めて参りました。小松市内では初めてのPTA大会開催と言うことで、早くから地元行政、教育委員会、学校関係者に協力を依頼し、当日までに地域が一丸となって全面的なご支援を頂きました。



1日目の分科会は、小松市内6会場にて設営をさせていただき、どの会場も一体感となった研究発表、パネルディスカッションとなりました。特に地元の安宅中学校PTAによる研究発表は、素晴らしい発表でした。2日目の全体会では、開催地の特色を全面に出した勸進帳連中（御幸中学校生徒）による囃子方、そして山崎直子氏の記念講演と、2日間にわたりPTA活動の存在意義や価値を再認識する場になったと確信致しております。



大会の全てにおいて、地元小松市内のPTAスタッフ280名の「大人の一生懸命な姿」に感動と勇気をいただき、人の繋がりの大切さを実感しました。PTA活動において、学校任せにするのではなく、我々保護者が先頭に立って学び、子ども達のお手本となる背中を創ることがこれからの使命だと感じ得た大会でもありました。



今回参加いただいた皆様が、今大会で感じ得た感動や気づき、そして絆を、それぞれのPTA活動に役立てて頂き、家庭・学校・地域が更に連携を深め、子どもたちの未来に向けた成長に繋がることを切に願っております。本当にありがとうございました。

第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会  
大会実行委員長 齋藤 浩



# 単Pだより

串 小学校

## 心とところをつなぐ！あいさつ運動！！

串 小学校育友会 会長 松原 裕樹

串小学校育友会の27年度の目標は「夢」です。将来の夢を考え、相談の中で見つけだし、そしてそれに向かって進むことがとても大切だと思うからです。

ある日、育友会活動を進めている中で、いつも育友会や学校事業を支援してくださる地域の方々から、こんな課題をいただきました。それは、(1)最近の子どもたちは、昔ながらの地域のつながりが少ないのでは。

(2)縦割りの関係がなく、協力し合うところが少ないのかも。(3)あいさつに元気がない。といったものです。

私は、この課題の解決策は、何よりも3つ目の「あいさつ」だと思いました。それは、あいさつが地域の人たちとの良い関係を築き、あいさつをする勇気が交友を広げ、その結果が一人ひとりのコミュニケーション能力の向上につながるのでは！と考えたからです。

この提案に対して、育友会を支えてくださる保護者一同は、快く賛同して下さり、串小学校では、7月からあいさつ運動を展開しました。これは、一番共通の時間となりうる朝の時間を活用して、数分だけでも！一声だけでも！と、保護者の皆様にあいさつをしていただくというものです。大人が進んであいさつをすることで、はじめは声の小さかった子どもたちも元気にあいさつを返せるようになりました。また、親子で考えるあいさつ標語を募集して、良い作品を表彰し、地域の掲示板やお店の入り口などに掲示させていただきました。保護者や学校の先生方からの強い後押しのおかげで、毎回実施するアンケートでは、「とても良くあいさつができています！」と回答してくださる方が少しずつ増えていきました。そして何よりも、お年寄りなどから、「子どもたちが元気の良いあいさつを自分からしてくれてとても元気が出た!!」といったすばらしいお声もいただきました。

地域からいただいた課題は、簡単にはクリアできないものかもしれません。しかし、このあいさつ運動が続くことで、地域の人と人がつながり、皆を大切に思う素敵なところが生まれ、明るい元気な地域が広がっていくのだと思うのです！

みなさま！あいさつで「地域のにっこり！」一緒に育てませんか!?

## ひだまり



### 子どもたちの笑顔のために

小松市立学校 PTA 連合会 副会長 竹島 清美

娘が小学校にあがってから、様々な形でPTAという仕事に携わっています。

活動する中で、学校の先生方はもちろんの事、保護者の方々、地域の皆さんとの出会いが広がりました。

折に触れ、皆さんの「子どもたちのために」という一生懸命な姿や、その想いに気付かされる事があります。

「なんでそこまで出来るんですか？」地域の方に一度尋ねた事がありました。

「子どもたち喜んだるやろ、それでいいんや」なんの見返りも求めない無償の愛に胸が熱くなりました。娘も思春期になった頃から、多くなっていった子育ての悩みも、研修を受ける事によって、他校の母親代表の方々との共感したおしゃべりに「こんな悩みも私だけじゃあないんだなあ」と少しホッとした事もありました。そんな時、自分は沢山の方々にも助けてもらってるんだな、支えられているんだな、と感謝したい気持ちで一杯になります。そして私も親として、人間として少しずつ成長させてもらってるんだなあ実感する事ができました。たかがPTAされどPTAです。多種多様の日常をこなし頑張っている親御さん「子どものために」という想いは皆さん一緒です

喜ぶ子どもの笑顔のためにこれからも毎日頑張らましようね。安心して下さい。みんな頑張ってますよ～

## 編集後記

委員長という大役を頂き、あっという間の一年間でした。広報として、うまく皆さんに伝えられたか分かりませんが、貴重な体験をさせて頂き、皆様方にはお礼の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。また本稿のためにご協力頂きました皆様には感謝申し上げます。

広報委員長 中井 泰孝 (犬丸小)

## 広報委員会

中井 泰孝 (犬丸小)・徳本 康志 (日末小)  
出淵 順一 (日末小)・堀口 祥一 (木場小)  
松原 裕樹 (串小)・水野 克俊 (東陵小)  
山下 律子 (安宅小)  
神田 恵子 (矢田野小学校校長)

